

Ⅲ. 財務状況の確認・評価

1. 事業収支

(1) 収入

収入項目		令和3年度実績	事業計画	令和4年度実績	前年比 (%)	計画比 (%)	整合性の検証
使用料収入 (県へ帰属)	海上係留・陸置場	72,406,180	75,000,000	76,905,785	106%	103%	外来艇の増加
	クレーン	1,248,880	1,300,000	1,509,660	121%	116%	契約、外来ともに利用者数増加
	貸出用船台	1,561,240	1,600,000	1,349,670	86%	84%	艇メンテナンスによる利用
	船台置場	1,328,000	1,400,000	1,752,210	132%	125%	船台置場契約の増加
	船具倉庫	1,122,330	1,200,000	1,232,310	110%	103%	すべてが契約中
	水上オートバイ	33,396	40,000	18,392	55%	46%	免許講習業者による利用
	ディンギー型ヨット	416,339	500,000	781,418	188%	156%	五輪合宿利用で増
	シャワー	92,000	100,000	101,900	111%	102%	—
	駐車場	4,233,300	4,300,000	3,567,300	84%	83%	—
会議室	98,940	100,000	104,040	105%	104%	—	
計	82,540,605	85,540,000	87,322,685	106%	102%	—	
指定管理料(県)(A)	44,305,000	44,305,000	44,305,000	100%	100%	—	
修繕費用・利子等(県)(B)	6,452,068	0	70	0%	—	修築費、受取利息	
自主事業収入 (C)	ガソリン等販売	15,110,831	18,000,000	26,802,282	177%	149%	—
	自販機販売	226,293	300,000	318,185	141%	106%	自販機1台追加
	利用者利便提供事業(ビジター係留、上下架支援等)	8,808,579	10,000,000	11,229,194	127%	112%	—
	計	24,145,703	28,300,000	38,349,661	159%	136%	—
合計(D=A~C)	74,902,771	72,605,000	82,654,731	110%	114%	—	

(現状分析・課題)

船台置場や貸出用船台の需要は多いが、置場や船台が不足している。新たに大型船台等を整備することで更なる収入増が見込める。自主事業については、燃料販売が好調で大幅に増加した。

(2) 支出(指定管理業務)

支出項目	令和3年度実績	事業計画	令和4年度実績	前年比 (%)	対計画比 (%)	特記事項 (変更理由等)
人件費(給与、手当、法定福利費等)	23,319,698	21,640,000	23,686,081	102%	109%	—
賃金	0	0	0	—	—	—
旅費	0	0	0	—	—	—
需用費 (消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費、雑費)	7,572,140	8,040,000	7,816,805	103%	97%	事務用品、シャボ・草刈機他燃料、研修受講費等
役務費 (通信運搬費、保管料、広告費、手数料、保険料、廃棄物処理費)	1,456,120	900,000	1,411,941	97%	157%	賠償保険、車両保険、振込手数料、支払報酬料等
委託料 (警備費、検査費)	11,622,595	11,205,000	10,417,188	90%	93%	常駐警備費、電気保安管理、年次点検・検査料
使用料及び賃借料	717,496	600,000	874,296	122%	146%	コピー機、軽トラ、パソコン等
備品購入費	118,888	320,000	-28,822	-24%	-9%	減価償却費
修繕費	7,097,977	1,200,000	691,355	10%	58%	クレーン修理、ロスナイフィルター修理等
その他(租税公課等)	8,000	400,000	10,010	125%	3%	—
合計	51,912,914	44,305,000	44,878,854	86%	101%	—

(2) 支出(自主事業)

支出項目	R3年度実績	事業計画	R4年度実績	前年比 (%)	対計画比 (%)	特記事項
仕入高	12,571,270	12,000,000	23,861,060	190%	199%	—
人件費(給与、手当、法定福利費等)	155,072	150,000	112,560	73%	75%	—
賃金	—	—	—	—	—	—
旅費	—	—	—	—	—	—
需用費	112,092	100,000	185,075	165%	185%	—
役務費	158,657	100,000	250,466	158%	250%	—
委託料	—	—	—	—	—	—
使用料及び賃借料	2,696	3,000	2,692	100%	90%	—
備品購入費	102,650	200,000	167,720	163%	84%	—
修繕費	120,209	100,000	7,136	6%	7%	—
その他(租税公課等)	—	—	2,048	—	—	—
合計	13,222,646	12,653,000	24,588,757	186%	194%	—
合計(G) (指定管理業務(E)+自主事業(F))	65,135,560	56,958,000	69,467,611	107%	122%	—

(現状分析・課題)

台風被害や大規模修繕が無かったため、施設修繕に係る経費が減少した。今後も効率的な修繕計画や節電、節水等の取り組みを継続し、経費削減に努める。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

Ⅲ. サービスの安定性評価(財務状況)

1. 事業収支

(1) 収入

収入項目		令和2年度実績	事業計画	令和3年度実績	前年比 (%)	計画比 (%)	整合性の検証
使用料 収入 (県へ帰 属)	海上係留・陸置場	60,782,801	65,000,000	72,406,180	119%	111%	陸置き契約の増加
	クレーン	965,260	1,200,000	1,248,880	129%	104%	契約、外来ともに利用者数
	貸出用船台	802,990	1,100,000	1,561,240	194%	142%	艇メンテナンスによる利用
	船台置場	998,520	1,100,000	1,328,000	133%	121%	船台置場契約の増加
	船具倉庫	1,140,412	1,100,000	1,122,330	98%	102%	すべてが契約中
	水上オートバイ	19,360	50,000	33,396	173%	67%	免許講習業者による利用
	ディンギー型ヨット	599,511	600,000	416,339	69%	69%	五輪合宿利用なしで減
	シャワー	164,800	170,000	92,000	56%	54%	—
	駐車場	4,438,200	4,500,000	4,233,300	95%	94%	—
	会議室	272,340	200,000	98,940	36%	49%	船舶免許講習の利用減
計	70,184,194	75,020,000	82,540,605	118%	110%	—	
指定管理料(県)(A)		44,305,000	44,305,000	44,305,000	100%	100%	—
修繕費用・利子等(県)(B)		11,182,074	0	6,452,068	58%		修築費、受取利息
自主事 業収入 (C)	ガソリン等販売	9,535,969	15,000,000	15,110,831	158%	101%	—
	自販機販売	224,275	230,000	226,293	101%	98%	—
	利用者利便提供事業(ピクニック 係留、上下架支援、カード発行 等)	8,573,822	10,000,000	8,808,579	103%	88%	—
	計	18,334,066	25,230,000	24,145,703	132%	96%	—
合計(D=A~C)		73,821,140	69,535,000	74,902,771	101%	108%	—

〈現状分析・課題〉

陸置き場を増設したことで、中型・大型艇の保管やメンテナンス艇の受入れに対応することができ、売上げ増加となった。
自主事業では燃料販売と上下架作業等の売上げ増加が大きかった。

(2) 支出

支出項目	令和2年度実績	事業計画	令和3年度実績	前年比 (%)	対計画比 (%)	特記事項
人件費(給与、手当、法定福利費等)	21,409,367	21,640,000	23,319,698	109%	108%	—
賃金	0	0	0			—
旅費	0	0	0			—
需用費 (消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱 水費、雑費)	7,719,922	7,720,000	7,572,140	98%	98%	事務用品、駐車券、 シャボ・草刈機他燃料、 研修受講費等
役員費 (通信運搬費、保管料、広告費、手数料、 保険料、廃棄物処理費)	1,533,740	1,140,000	1,456,120	95%	128%	パンフレット作成、賠償 保険、車両保険、振込 手数料、支払報酬料等
委託料 (警備費、検査費)	10,530,418	11,205,000	11,622,595	110%	104%	常駐警備費、電気係女 管理、年次点検・検査 料
使用料及び賃借料	589,731	600,000	717,496	122%	120%	コピー機、軽トラリース
備品購入費	0	400,000	118,888		30%	減価償却費
修繕費	13,871,644	1,200,000	7,097,977	51%	591%	クレーン修理、船台修 理等
その他(租税公課等)	9,370	400,000	8,000	85%	2%	
合計(E)	55,664,192	44,305,000	51,912,914	93%	117%	—

〈現状分析・課題〉

要修繕箇所をランク別に分類し、効率的な修繕計画を立案し、修繕費の削減を図る。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

与那原マリーナ船だまり場の利用料について

(単位:円)

	R 1	R 2	R 3	R 4
利用料収入額	1,724,266	1,546,561	2,002,892	3,005,178